

2 0 1 9 年 度

事業報告書

公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会

2019年度事業報告書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1. 事業の経過の概要

当協会は、事業計画に基づき大阪フィルハーモニー交響楽団の運営を中心として、交響管弦楽その他音楽の普及振興を図るとともに、青少年層の音楽鑑賞・演奏に関する指導を行うなど、大阪を代表するオーケストラとして、わが国の文化芸術の振興、大阪を中心とした地域貢献に資する事業を実施いたしました。

これらの事業の実施は、中期的な重点課題である「自立に向けた収益基盤の充実」、「オーケストラの体制整備」、「大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献活動の推進」の3つの点に沿った形で展開してまいりました。

一方、2018年4月に音楽監督としてお迎えした尾高忠明マエストロの下、定期演奏会をはじめとする自主公演、各種イベントも盛況のうちに終えることが出来ました。

また、大阪フィルの活動を支えるファン層の拡大、あるいは一般向けの公演チケット販売促進を企図した各種施策を実施するとともに、2015年度に新たに設置したパトロナージュ推進室のアドバイザーならびにアンバサダーの各種活動や会員会社の協力も得て、新たな支援層拡大にも取り組んでまいりました。

このような中、当年度の経常収益は919百万円（前年度比▲34百万円）、経常費用は939百万円（前年度比△38百万円）、経常増減額は▲20百万円（前年度比+4百万円）となりました。

経常増減額については、プラス要因としての賞与引当金の減少等があり、マイナス要因として新型コロナウイルス感染症拡大に伴う演奏会中止等の影響が挙げられます。

なお、楽団を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響も加わり更に厳しい状況が続いております。引き続き、感染症拡大防止策を講じた上で楽団の活動を維持すると共に、様々な経営改善策の検討、推進を図ってまいります。

2. 2019年度重点課題の実施状況

(1) 自立に向けた収益基盤の充実

2019年度の公演回数は、当初の事業計画106件(自主公演40公演、依頼公演66公演)に対し、実績97件(自主公演39公演、依頼公演58公演)となりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自主公演1公演及び依頼公演7公演が中止となりました。

定期演奏会では若手から巨匠まで国内外の様々なタイプの指揮者、独奏者を招き、幅広い作品に取り組みました。また、自主公演では、前年度のベートーヴェンに続き、ブラームスの交響曲全曲演奏会に挑みました。

このような中、各種割引チケットの販売促進や年間総合パンフレットの活用に継続して取り組んでまいりました。

引き続きアンケート分析結果やプロボノ賛助会員の電通様など外部の知見も取り入れながら、今後の各種マーケティング施策に繋げていきたいと考えております。

(2) オーケストラの体制整備

楽団員の体制につきましては、中期的目標である80名体制の整備に向けて、トップレベルの優秀な人材確保を目指しておりますが、残念ながら本年度は入団者0名という結果になりました。

コンサートマスターにつきましては、首席コンサートマスターを田野倉雅秋氏(2019年7月末退任)、そしてソロ・コンサートマスターを崔文洙氏、コンサートマスターを須山暢大氏に務めていただき、分担して演奏会へ出演いただきました。

これらの結果、2020年3月31日現在で、コンサートマスターも含めた楽団員数は70名となりました。

(3) 大阪の都市魅力の向上に資する社会貢献

大阪の秋の風物詩として街の活性化にも貢献している「大阪クラシック」については、2019年度もプロデューサー大植英次マエストロのもと「第14回」を2019年9月初旬の1週間で開催し、延約4万人ものお客さまにご来場いただくことができました。なお、大阪クラシックについては、大阪市様からも高い評価をいただいております。

3. 大阪フィルハーモニー交響楽団の運営状況

大阪フィルの独自の音楽性発揮の場である定期演奏会や各種自主公演に加え企業・団体・ホールからの依頼公演など、幅広くかつ充実した演奏活動を展開することができました。

(1) 定期演奏会(文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業)

| 回数 | 開催日 | 指揮者 | 共演者 | 入場者数 |
|-------|---------------|------------|-----------------------------|--------|
| 第527回 | 2019.4.12・13 | 尾高 忠明 | — | 2,618人 |
| 第528回 | 2019.5.23・24 | シャルル・デュトワ | 大阪フィルハーモニー合唱団 | 4,172人 |
| 第529回 | 2016.6.21・22 | ヨエル・レヴィ | — | 2,479人 |
| 第530回 | 2019.7.18・19 | ダン・エッティンガー | 清水 和音 | 2,641人 |
| 第531回 | 2019.9.27・28 | ハインツ・ホリガー | — | 2,502人 |
| 第532回 | 2019.10.25・26 | 尾高 忠明 | フィリップ・トーンデュル ゲニア・キューマイヤー | 2,355人 |
| 第533回 | 2019.11.27・28 | 準・メルクル | 児玉麻里・児玉桃 | 2,382人 |
| 第534回 | 2020.1.16・17 | 尾高 忠明 | スティーヴン・イッサーリス | 2,364人 |
| 第535回 | 2020.2.21・22 | 秋山 和慶 | 辻 彩奈 | 2,369人 |
| 第536回 | 2020.3.19 | 井上 道義 | アイレン・プリッチン | 無観客 |

フェスティバルホールにおいて第527回から第535回まで1回2公演、第536回は無観客での1公演と計19公演を開催し、世界的な指揮者・ソリストとともに大阪フィルの独自の音楽性を発揮することで大阪の文化振興に貢献するとともに、楽団の技術向上にも寄与することができました。

なかでも、第531回ハインツ・ホリガー指揮による演奏会は公益財団法人アフィニス文化財団様から高い評価をいただき、「楽団としての成長、発展を目指して企画された意欲的な公演」として「アフィニス エンブレム」による助成を受けました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での1回公演となった第536回では無料でのネット配信を実施。約19万件のアクセスを得るに至りました。

(2) ブラームス交響曲全曲演奏会（文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業）

尾高音楽監督就任2年目に、朝比奈時代から繰り返し取り組んで来たドイツ3大Bの一角「ブラームス」に挑み、合唱曲と交響曲を組み合わせた斬新なプログラムが好評を博しました。

(3) 東京定期演奏会

2年連続となる東京定期演奏会をサントリーホールで開催いたしました。

(4) マチネ・シンフォニー（文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業）

夜間に開催するコンサートへの来場が難しいお客さまに楽しんでいただくことを目的として、平日昼間の本格的なコンサートとして、Vol. 21、Vol. 22の2公演開催いたしました。

(5) ソワレ・シンフォニー（文化庁補助による舞台芸術創造活動活性化事業）

多くの方に楽しんでいただける本格的な名曲コンサートとして、Vol. 13、Vol. 14の2公演開催いたしました。

(6) その他の自主公演・共催公演

「ドラゴンクエストコンサート」 1公演

「親子のためのオーケストラ体験教室」 4公演

「京都特別演奏会」 1公演

「神戸特別演奏会」 1公演

「3大交響曲の夕べ」 1公演（フェスティバルホールと共催）

「第九シンフォニーの夕べ」 2公演

「新春名曲コンサート」 1公演

(7) 大阪市様からの委託事業等

地元西成区の音楽文化振興を目的として、大阪フィル会館を舞台に毎年継続開催している「にしなりクラシック」を1公演開催いたしました。

また、「大阪クラシック」では、大阪クラシック実行委員会からの委託事業として、有料制のオーケストラ公演を2公演開催いたしました。

公募型プロポーザル方式で採択された「はじめましてオーケストラ」（大阪フ

イルと中学生の共演コンサート) につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされました。

(8) 依頼公演

企業・団体・ホールからの依頼公演((7)の公演を含む)を年間通じて58公演開催し、クラシック音楽の普及に努めるとともに、企業・団体の社会貢献活動の取り組みに音楽の提供を通じて貢献することができました。

4. 大阪フィルハーモニー会館の運営

当協会が保有する大阪フィルハーモニー会館のメインホール(600㎡)・市民スタジオ(90㎡、40㎡×2の3室)を、市民の音楽活動の拠点として貸与する事業を通じ、地域の音楽文化の普及、振興に貢献してまいりました。2019年度の利用件数は、メインホール170件、市民スタジオ3室合計945件となりました。

5. 法人の庶務

(1) 総会

・ 定時総会 開催日 2019年6月13日

決議事項

議案① 2018年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案② 2018年度貸借対照表、正味財産増減計算書、それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案③ 理事4名任期満了に伴う理事4名選任の件

議案④ 監事1名任期満了に伴う監事1名選任の件

(2) 理事会

・ 定時理事会 開催日 2019年5月23日

決議事項

議案① 第8回定時総会招集の件

議案② 2018年度事業報告及びその附属明細書承認の件

議案③ 2018年度貸借対照表、正味財産増減計算書、それらの附属明細書および財産目録承認の件

議案④ 理事4名任期満了に伴う理事4名選任の件

議案⑤ 監事1名任期満了に伴う監事1名選任の件

議案⑥ 人事異動に関する件

・定時理事会 開催日 2020年3月12日

決議事項

議案① 2020年度事業計画及び収支予算書承認の件

議案② 人事異動に関する件

(3) 会員の状況

| | | | | | | |
|----------|------|------|----|------|---|------|
| 本年度末の会員数 | : 法人 | 265社 | 個人 | 258名 | 計 | 523名 |
| 前年度末の会員数 | : 法人 | 266社 | 個人 | 260名 | 計 | 526名 |
| 差引 | : 法人 | ▲1社 | 個人 | ▲2名 | 計 | ▲3名 |

(内 訳)

| | | | | | | |
|----|------|-----|----|------|---|------|
| 入会 | : 法人 | 4社 | 個人 | 9名 | 計 | 13名 |
| 退会 | : 法人 | ▲5社 | 個人 | ▲11名 | 計 | ▲16名 |

2019年度新規加入会員

(法人の部) 4社

全星薬品工業株式会社、株式会社日本旅行、花王株式会社、
阪和興業株式会社

(個人の部) 9名

藤田正史、稲葉曄子、浅沼吉正、松原健二、小林二郎、山川修司
豊永幸浩、中地佳彦、山本寛明

(4) 理事の異動

2019年度中の理事・監事の異動は下記のとおり

(退任理事・監事)

・理事 阿部 圭介氏(株式会社朝日ビルディング 代表取締役社長)

2019年6月13日退任

- ・理事 池田 仁氏(アサヒビール株式会社
首都圏統括本部 総務部 部長)
2019年6月13日退任
- ・理事 伊藤 雄二郎氏(株式会社三井住友銀行 元副会長)
2019年6月13日退任
- ・理事 浅沼 吉正氏
2019年6月13日退任
- ・監事 月山 将氏(関西電力株式会社 常務執行役員)
2019年6月13日退任

(新任理事・監事)

- ・理事 安藤 恭輔氏(アサヒビール株式会社
近畿統括本部 総務部 部長)
2019年6月13日就任
- ・理事 角元 敬治氏(株式会社三井住友銀行 取締役専務執行役員)
2019年6月13日就任
- ・理事 宍道 学氏(株式会社朝日新聞社 執行役員)
2019年6月13日就任
- ・理事 松村 隆氏(ライジング厚生サービス株式会社 代表取締役社長)
2019年6月13日就任
- ・監事 岡田 達志氏(関西電力株式会社 執行役員 総務室長)
2019年6月13日就任

※ 各氏の所属会社・団体での職位は、いずれも就任・退任時の職位

以上

公益社団法人大阪フィルハーモニー協会 役員一覧

(2020年3月31日現在)

| | | | |
|------|--------|----|--------|
| 理事長 | 奥 正之 | 理事 | 武野 一起 |
| 常務理事 | 松村 隆 | 〃 | 鶴田 七郎 |
| 常任理事 | 今井 敏之 | 〃 | 中谷 敏昭 |
| 〃 | 角元 敬治 | 〃 | 西岡 信雄 |
| 〃 | 中嶋 啓吾 | 〃 | 長谷川 壮 |
| 〃 | 新沼 宏 | 〃 | 久田 裕彦 |
| 〃 | 福田 里香 | 〃 | 山本 卓彦 |
| 〃 | 室町 鐘緒 | 監事 | 岡田 達志 |
| 〃 | 森 詳介 | 〃 | 森下 文夫 |
| 理事 | 安藤 恭輔 | 顧問 | 宇野 郁夫 |
| 〃 | 板井 昭浩 | 〃 | 太田 房江 |
| 〃 | 大場 英幸 | 〃 | 小野寺 昭爾 |
| 〃 | 小原 一泰 | 〃 | 北岸 松男 |
| 〃 | 片岡 不二恵 | 〃 | 佐藤 義雄 |
| 〃 | 斉藤 裕典 | 〃 | 關 淳一 |
| 〃 | 笹川 淳 | 〃 | 中川 和雄 |
| 〃 | 宍道 学 | | |